



台風の際に

先日の台風の際にはご協力いただきありがとうございました。登校時、「みんなよく来たなあ。」「子供たちを送り出す保護者の皆さんもたいへんだなあ。」などと考えながら、登校してくる子供たちを迎えていました。

8時過ぎに昇降口に向かうと「校長先生」との声。目をやると、1年生の男の子が「早く中に入って！かせひいちゃう。」胸の奥の方があたたかくなりました。



夏休み 先生たちはこんなことしてました。

「夏休み、先生たちは休みなの？何していたの？」子供たちからよく聞かれます。ここまでの教育活動のまとめや振り返り、時間をかけてやってみたい調べ物やこれからの授業の準備、学校内の片付けや掃除などなど…普段できない勉強（研修）もしました。紹介します。

まず、右の写真。心肺蘇生法（しんぱいそせいほう）の研修中です。突然、目の前で人が倒れた時どうするか。（学校では子供も先生も倒れるかもしれない。）心臓マッサージ、AEDの使い方、緊急時の対応などの研修です。命に関わるこの研修は、毎年定期的に行っています。



次は、特別活動についての研修です。茨城県教育研修センターの指導主事をお招きしました。現在、本校で進めている子供たちの主体性を伸ばす活動がさらに充実するように、講師の先生から効果的な事例について紹介してもらったり、理論についてお話をいただいたりしました。



3つめは、理科の実験についての研修です。理科専科の中山先生を講師にして、実験器具の扱い方や子供たちの興味・関心を高める学習指導について話し合いました。



最後の写真は、阿見町の特別支援教育の研修会に、オンラインで参加している様子です。本校では、担当者ばかりでなく全員が参加しました。子供たち一人一人の個性に応じた接し方や指導法について学びました。

この他に、道徳の授業についての研修も行いました。県南教育事務所の指導主事から、子供たちが自分のこととして考え話し合いたくなるような道徳の授業の進め方についてお話を聞いたり話し合ったりしました。

また、4月に6年生が受けた『全国学力・学習状況調査』の問題を先生たちが自分たちも解いてみて、どんな勉強の仕方をすれば子供たちが分かりやすいかを考えました。

学校ばかりでなく県や町の研修会に参加したり、個人的に講習や研修に参加したりする先生もいました。もちろん、ゆっくりと休んでリフレッシュもしました。（したはず？）

この成果、このあと子供たちのために発揮します。ご期待ください。

